



いまいは今
vol.127

発行 今井町並み保存会
発行日 平成23年1月1日
電話 0744-22-1128
http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp

◇ご意見・ご感想は
今井まちづくりセンターまで

新年の挨拶

今井町並み保存会会長 若林 稔

新年明けましておめでとございます。
 昨年は今井宗久生誕490年記念事業や遷都1300年祭に関連する大きなイベントを皆さんの協力で成功させることが出来ましたことを冒頭で御礼申し上げます。
 そして新たに迎えます平成23年はこれまで先輩たちが培ってこられた町の保存活動を更に進め、「保存と活性の両立」へと歩む意義ある年にしていききたいと決意も新たにしております。

「町づくりは人づくりから」と言います。
 最近保存活動に参加協力を始めて下さる若い方も増え始め、これまでの方々の力となぎ合わせ、町中のみなさんが参加できる色々な取り組みを企画していききたいと思っております。

そして外に向かつては世界に誇りうる今井町の保存資産を更にPR活動し、世界遺産に向けての意志を發揮するとともに、県下の学校などを通じて次世代を担う子供たちにも保存の大切さを知らせていききたいと思えます。これらを実行するには皆さんのご協力を欠かすことが出来ません。

ご協力ご支援のほどよろしくお願いいたしますとともにみなさんにとっても佳き年になりますように祈念いたしましたして年頭の挨拶とさせていただきます。

全国町並みゼミ盛岡大会報告 ②

前回の若林会長の所感に続き、今回は私の参加報告をします。

第3分科会のテーマは「町並みを次世代につなげるために」でした。

分科会が行われたこの町は江戸時代に南部藩の城下町として、奥州街道の起点として発達した町で、また中心部を流れる中津川にはサケが遡上をしていました。

町の若い人たちは先輩の意見を聞き、取り入れて町の活性化と保存に努力されています。

また鉈屋町の重伝建の建物は街道筋に点在して、現在も住まいとして使用されています。

その中の一軒を例に挙げますと、玄関、店の間、中の間、奥の間とあり、中央の間の間は吹き抜けになっていて上から光を取り入れ、中段に神棚が、これを取りまくように部屋が

ある特別な造り方でした。

盛岡大会に参加して思った事は数十年今井町に暮らしてきて気付かなかったが、他の重伝建地区に比べてみて、改めて我が町今井町のすばらしさを実感したことでした。この町のすばらしさを若い人たちが後世に末永く伝えてほしいと思います。(若井)

魚崎郷まちなみ委員会来町報告

11月21日(日)に魚崎郷まちなみ委員会研修で今井町に来られました。(前号参照)

魚崎郷地区は平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災により大きな被害を受け、震災以降、この地区では「景観形成市民協定」を策定し、建物などを新築、増築、修繕する際には古くからの個性的なまちなみを壊さず、守り育てていこうとされています。



この日は、午前中に保存会役員との意見交換会がおこなわれ、さまざまな質問が寄せられました。その中の一つに町内で発生するゴミをどう処分

するのかというものがありました(魚崎郷では数週間一度、有志の方が町内清掃をされ

ているようですが、今井町では町歩きをした際に、ゴミが見当たらないことにも感心しておられました。今井町民の普段の努力が認められたようで、誇らしく感じました。

浮孔小学校校外学習

11月26日(金)に大和高田市立浮孔小学校4年生が校外学習に訪れました。(前号の27日は、26日の誤りです。)

今回の校外学習は、来年度より使用される地域のことを学ぶための副読本を使った授業を先取りして行われたものです。華豊で簡単な説明を聞いた後、河合酒造と恒岡醤油醸本を訪ねて町内での商いを学んだ後、旧米谷家で町家暮らしについて勉強しました。



醤油の製造過程を、図を見ながら勉強しています

12月7日(火)には若林会長・大村副会長が浮孔小学校に赴き、小学生たちの学習成果の発表を聴きに行きました。その時の様子を大村副会長に伺いました。

12月7日、大和高田市立浮孔小学校4年生の社会科見学に、若林会長とともに参加しました。この日は、先月26日に今井町を訪れて実際に町を歩いて、見て、感じたことや考え

たことのまとめとしての授業で、たいへん活発な意見や質問が、終了の合図が鳴るまで続き、時間が足りないほどの内容の濃いものとなりました。古い町並みを守り大切にすることの意味や、次の世代に受け継いでもらうための保存会の努力や活動を子供たちも理解して、「今井町は、日本の宝だから」という意見が出た時には、その率直で新鮮な感覚に驚きました。私たちも、さらに深く今井町のことを学んでいかなければとの思いを感じた一日でした。

AFS日本協会留学生体験学習

12月11日(土)に外務省所管事業「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環としてAFS日本協会奈良支部が受け入れている留学生14名とそのホストファミリーが、今井町で伝統文化体験学習を行いました。



留学生たちは最初にまちづくりセンターで書道体験をしました。普段使いたない筆を持ち、それぞれが自分だけの芸術作品と箸袋を完成させました。

午後からはホストファミリーを交えての町歩きや餅つきを楽しんでいました。

今回、手助けしてくださった、東京大学大学院の亀井由紀子さんに当日の感想を書いてもらいました。

何とも贅沢な一日で、留学生とホストファミリーのはしゃぎようは見ていて気持ちがいい程だった。何しろ着物で町を歩き、書に親しみ、茶粥を味わい、餅をつくのだが、細部に宿る心遣いがどれも文化的な質の高さを秘めている。後半、美しい炎に照らされた煙と湯気が立ちこめるほの暗い土間で、わあわあ言いながら餅については食べる空間には、全員をひとつの家族にしてしまう魔力が確かに働いていた。今井町の町並み哲学を垣間見た思いだ。

いま往来

12月28日(火) 30日(木)

年末警戒・夜回り

12月31日(金) 1月1日(土)

大祓式・除夜祭り(町内各寺社)

・春日神社 新年参拝

・稱念寺

甘酒ふるまいおよび記念品配布

※なくなり次第終了。

除夜の鐘(来年以降は改修に入るため、しばらく休みます)

・順明寺

除夜の鐘

1月8日(土) 恵比寿祭(春日神社)

甘酒・熊手の頒布(午前10時より)

1月9日(日) 町歩き勉強会

まちづくりセンターを出発

1月14日(金) 大とんど(春日神社)